

11月の祭典行事について

熱田神宮宮庁総務課 名古屋市熱田区神宮1-1-1
T e l 0 5 2 (6 7 1) 4 1 5 3 F a x 0 5 2 (6 8 1) 0 5 3 8

公式HP



熱田講社の秋のまつり

熱田講社秋季大祭

11月1日(土)

午前11:00

本宮

祭典・神事

全国から参集した熱田講社講員の家内安全を祈願する秋の大祭を執り行います。

熱田講社は、神徳の宣揚と社運の隆昌とを図る目的のもと、昭和21年4月に愛知県全域の当神宮を崇敬する方々により組織した団体で、講員数は約23,000名にのぼります。



明治天皇の御聖徳を仰いで

明治祭

11月3日(月)

午前7:00

本宮・別宮

祭典・神事

宮司以下祭員が奉仕して、明治天皇の御聖徳を仰ぎ奉り、皇室の弥栄と国家の安泰とを祈るお祭りを執り行います。



奉賛会の隆昌を祈って

奉賛会大祭

11月3日(月)

午前10:00

本宮

祭典・神事

奉賛会々員の隆昌と繁栄とを祈る大祭を執り行います。奉賛会は、熱田の大神様を敬い神宮の隆盛を図る目的で、昭和20年に名古屋市内の崇敬者を中心とし組織された団体です。このお祭りには毎年当神宮の総代が献幣使としてご奉仕下さいます。



○ 本年の献幣使は、当神宮総代の愛知芸術文化センター 総長 神田 真秋 氏のご奉仕されます。



熱田の杜で七五三

七五三特別祈祷

午前8:30～午後4:00

行事

七五三のお祝いは、「七歳までは神の子」と言われていたように、子供の霊魂は不安定で、しっかりした子になるよう繰り返し祈願することが習慣となっています。お子様の健やかな成長と将来の幸福をお祈りします。七五三特別祈祷は12月初旬までご奉仕致します。



境内で粘土をこねて楽しいな

第62回熱田神宮彫塑(ちようそ)コンクール

11月3日(月)
 午前8:00～正午
 境内一円

行事

幼児（4歳以上）～小中学生約1,500人を対象に、境内での粘土作品のコンクールを開催、粘土で思い思いの作品を制作しその出来映えを競います。
 当日は、文化殿前にて午前8時より、粘土1kgと粘土板を配布します。
 県内唯一の大規模な彫塑コンクールです。



○参加自由（保護者の方の作品提出も受け付けます。）尚、作品は返却致しません。

七五三、皆でお参り楽しいな

福祉施設児童七五三参り

11月5日(水)
 午前10:00～午後1:00
 神楽殿

行事

日頃神社参拝の機会が少ない市内の福祉施設児童約100名を招いて七五三をお祝いし、子供たちのすこやかな成育と幸福を祈願いたします。



○この行事は昭和37年に始められ今日に至っています。



熱田神宮宝物展

特別陳列 第30回熱田の杜 東海現代刀匠刀剣展

10月31日(金)～11月25日(火)

午前9:00～午後4:30

宝物館

宝物展示

当神宮所蔵宝物の他、今月は「第30回熱田の杜 東海現代刀匠刀剣展」を新館展示室において特別陳列します。本年は30回を記念して、東海地方で活躍する刀匠の新作刀剣をはじめ、当地の刀匠のもとで修業し、遠地で活躍する刀匠、物故刀匠の力作も紹介します。(展示品数 約60点)
今月の主な展示品

【重文】日本書紀、【重文】木造舞楽面 崑崙八仙

【県文】「熱田太神宮」神号、【県文】台盤 他

- 入館料 ・大人500円、小中学生200円
[両館共通券 大人800円、小中学生300円]
・入館は午後4時00分まで
・団体割引あり。詳しくは文化課 (052-671-0852) まで



剣の宝庫 草薙館 刀剣展

11月展「備前伝Ⅱ」

10月29日(水)～11月24日(月)

午前9:00～午後4:30

剣の宝庫 草薙館

刀剣展示

当館は真柄大太刀含め、名刀10数振りの他、三種の神器「草薙神剣」に関する絵画等の展示、また実際に真剣や真柄大太刀の重さを知ることのできる体験コーナー、映像ブースも兼ね備えております。

今月の主な展示品

【重文】太刀 無銘(伝 真長)

太刀 銘 長光

太刀 銘 雲次

- 入館料 ・大人500円、小中学生200円
[両館共通券 大人800円、小人300円]
・入館は午後4時00分まで
・団体割引あり。詳しくは文化課 (052-671-0852) まで



文化講座

『明日へのあゆみーくらしとしくみー』

11月22日(土)

午後2:00～午後4:00

文化殿講堂

教養

演題

信楽焼の歴史と狸文化

講師

京都橘大学・びわこ学院大学 非常勤講師

日本狸学会 前会長

大平 正道 氏

○聴講無料

